

つまりテロ特措法に基づくこの活動というのは終
わらない、こういうことなんでしょうか。

○国務大臣(石破茂君) 先生、これ、こうこうこ
ういう条件が成就したらやめるのだということ
を今の時点で申し上げるのは非常に難しいことな
らざるうと思っております。

ただ、これはアメリカが続いている限りやるの
かという御指摘だとすれば、それはアメリカが続
けていてもやめることはあり得ることでしよう。
それは日本が主體的に判断をすることであつて、
日本として、この法律の目的が達せられたとい
うことであれば、それは日本が主體的に判断してや
めるといふことになり得ます。ただ、アメリカの判
断と日本の判断がそんなに異なることがあるかとい
えば、私はそのようなことがあるとは考えませ
ん。

ただ、これはテロの数が減ってくるということ
と同時に、各国のテロ対策というものが本当に万
全になつてきて、それが、テロは仮に散発的に起
こつたとしても、これはもう各国の体制あるいは
国際協調によつてそれがもう起らないんだとい
うこと、これの相関関係にも立つたのらうとい
ふうに私は考えています。

○小泉親司君 私、この問題というのは、これ
までも脅威の除去というのを議論してきました
が、非常に具体的に、実際にアフガニスタンの不
朽の自由作戦が進展していながら、現局面でど
ういう形で自衛隊が撤退するのか。これは私は、ど
んどんどんどんこれはアメリカの不朽の自由作戦
に引きずられていく以外の何物でもない。

もう少し、やはり今の状況からしても、当然、
撤退できる条件はあるわけですから、必然的に私
は自衛隊が撤退すべきだということを主張して、
次のちよつと問題について移らせていただきた
いと思ひますが、例の空母キティーホークの給油
問題であります。

私もこの問題については、一月三十日に参議院
予算委員会で取り上げて以来ずっと取り上げてま
いりましたが、五月六日の日に、米軍の司令官が、

これは米軍の司令官という言い方しますが、つま
りこの点については防衛庁長官と私の事実関係
が若干違うので、米軍の司令官が空母キティー
ホークが給油を受けていたという事実を明らかに
いたしました。これに対して、石川統合幕僚会議
議長は、八日の記者会見で、二月二十五日にキ
ティーホークが米国の補給艦から八十万ガロンを
受給して、その前の前になります。同日に海上自衛隊から同補給艦に約二十万ガロンの
補給を実施している、それは二月二十五日、ま
だキティーホークは不朽の自由作戦に従事してい
ましたというふうな述べておられます。

〔委員長退席、理事山本一太君着席〕
私、この問題について、ちよつとその間の七日
に参議院決算委員会で質問いたしました。このと
きには、福田官房長官も記者会見で述べられてお
ります。この問題について述べられておられます。
そこで、私も尋ねますが、長官はこの私の、
答弁に対して、イラク攻撃に従事しておりました
キティーホーク機動部隊の艦艇が海上自衛隊から
間接的に補給を受けたことがないと考えており
ますと、長官は七日の参議院決算委員会で答弁さ
れております。これは、統合幕僚会議議長の、私、
防衛庁からいただきました資料によりますと、こ
れは見解が違つて、事実関係が違つて、一体、防衛
庁長官はどういう確認をしてこういう答弁をされ
たんですか。

○国務大臣(石破茂君) これは何も見解が違つて
いるわけでもございませんで、キティーホークと
いうものが不朽の自由作戦にも参加しておつた
ということ、そしてキティーホークが我々の補給
艦から直接補給を受けていないということ、そし
て、我々から補給を受けた燃料というものをイラ
ク攻撃に使用するというような、テロ特措法の目
的外に使用したことはないということをおし上げ
ておるわけではございまして、この点におきまして、
海幕長の申し上げましたことと私が申し上げてお
りますこととは何らそごはございませんで、い

○小泉親司君 ということはあれなんでしょうか、い
かなる意味でも空母キティーホークは海上自衛隊
の補給艦から間接的にでも補給は受けていない
と、こつとつちやるんですか。

○国務大臣(石破茂君) 直接、我々は受けていな
いと言つておられるのは、つまり米軍が、我々が受
けていないというの、直接受けていないというこ
とで申し上げておると承知してあります。そして、
間接的に受けたにせよ、それをこの法の目的外に
使用したことはない、それはすべて不朽の自由作
戦に使用されたということでございます。

○小泉親司君 ちよつと、防衛庁長官、はつきり
させていたただきたいんですが、キティーホークに
対して海上自衛隊は間接的にでも補給はしていな
いという御見解なんでしょうか。つまり、目的につ
いてはまだ私、議論したいと思ひますが、どちらな
んですか。そこをはつきりさせてください。

〔理事山本一太君退席、委員長着席〕
問題を、正確にしたいと思ひんですが、これ、
海上自衛隊とあなたはおつちやるけれども、統幕
議長会見と、この統幕議長の会見、防衛庁から
いただいたものによれば、細部を海上自衛隊が調査
したということも理由にして、ちやんと空母キ
ティーホークには行つていないことを言つて
いるじゃないですか。防衛庁長官と違つて、
○国務大臣(石破茂君) どの船が給油を受けたか
ということにつきましては、それは申し上げるこ
とはいたしません。それは、私どもの補給艦が相
手の艦船に対して直接補給をすることもあれば、
補給艦を通じて間接的に給油をするということ
もございまして、直接、間接というの、そういう
意味でございまして。

ただ、私どもの補給艦が、例えば「はまな」が、
例えば「とわだ」がどの船に給油をしたというよ
うな、個別の艦名までは申し上げることをいたし
ません。

○小泉親司君 長官、この統幕議長の発言は、二
月二十五日にキティーホークが米国の補給艦から
八十万ガロンを受給して、その前の前に
なりまして、同日に海上自衛隊から同補給艦に約

二十万ガロンの補給を実施して、それは二
月二十五日、まだキティーホークは不朽の自由
作戦に従事しておりましたという発言なんでしょう。

つまり、統幕議長の言つておられることは、間接的
にキティーホークは海上自衛隊から補給されてい
たということをお認めになつておられるじゃないです
か。こんな、私、事実関係をねじ曲げるのは、私
は問題だと思ひますよ。長官、いかがですか。

○国務大臣(石破茂君) ねじ曲げているわけでも
何でもないわけではございまして、アメリカに確認
を私どもがいたしましたところでは、キティー
ホークへの米艦艇による補給についての追加的情
報を受け、キティーホークが不朽の自由作戦に従
事する二月二十五日に米補給艦から約八十万ガロ
ンの燃料の提供を受けたということを確認してお
るわけなんです。他方、同日には、海上自衛隊の補給
艦が当該米補給艦に二十万ガロンの燃料提供を
実施しているということを確認をいたしておるわけ
でございます。

海上自衛隊がアメリカの補給艦に燃料提供を行
いました場合に、その補給艦がこの燃料を具体的に
に、その後いずれのアメリカの船に補給している
かにつきましては、これはアメリカ軍がテロ対策
特措法の趣旨に基づいて決定しておるわけでは
ございまして、私どもの政府として細部に至るま
でお答えをする立場にはないということを繰り返
して申し上げておるわけではございませんで、何ら
矛盾しているわけでもなければねじ曲げているわ
けでもございませんで、

○小泉親司君 よろしいですか。統幕議長の言
ておられるのは、キティーホークの空母は間接的
に海上自衛隊から給油を受けていますよ、しかし
キティーホークは不朽の自由作戦をやつておるの
でイラクの戦争のために使つておられるんじゃない
わけじゃないと思ひますよ、これが統幕議長の
見解なんです。

長官は、今、私が説明したのと同じなんです、